

2020年4月8日

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う「緊急事態宣言」を受けて

本日、足利銀行頭取 松下 正直は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う「緊急事態宣言」を受けて、従業員へ下記のメッセージを述べましたので、お知らせいたします。

記

新型コロナウイルス感染症が世界的に流行し、従業員の皆さんとご家族、そしてお客さまが、大変不安な日々を過ごされているものと思います。特に、感染の不安を抱きながら、多数のお客さまの対応にあたって頂いている営業店の皆さんに対して、改めて、深く感謝申し上げます。

昨日、政府による「緊急事態宣言」が発出され、当行の営業エリアでも東京都、埼玉県が対象地域となりました。また、栃木県、茨城県、群馬県もその近接地域であり、日々の業務運営が大変難しい状況となっています。この難局に際して、私から従業員の皆さんに直接メッセージをお伝えします。

当行では、頭取を本部長とする「対策本部」を立ち上げ、「従業員や家族、お客さまの人命尊重を第一とする」とともに、「感染拡大防止に最大限努める」、「社会機能維持者として求められている国民生活維持のための重要業務について最低限継続していく」を行動の基本原則として様々な対応を行っています。

既に、「役職員本人およびその同居家族に風邪の症状や感染の疑いがある際の出勤見合せ」、「特別休暇制度やフレックス勤務制度の活用徹底による職員間の接触機会の低減」、「緊急事態宣言における対象地域での外訪活動の原則禁止」などを周知していますが、今後も従業員やその家族、お客さまの命を守るための対応を可能な限り行っていきます。

また、従業員の皆さんも、いわゆる「3密」を避ける、不要不急の外出をしない、うがい・手洗いの励行といった基本行動を徹底し、感染予防に十分に配慮いただきたいと思います。

地域のお客さまも、我々同様、不安な日々を過ごされ、また、大変な困難に直面されています。こうした非常の事態だからこそ、地域のお客さまに手を差し伸べ、支えていく、これが地域金融機関としての矜持であり責任でもあります。「お客さま志向」を行動の原点に、誠心誠意、真摯な対応をはかってください。

今こそ「地域と共に生きる」という企業理念に立ち返り、我々の持てる力・知恵全てを使って、地域のお客さまを支え、また、我々自身も決して冷静さを失うことなく、互いに助け合い、この難局を乗り越えていきましょう。

以上